

平成 29 年度評議員選任・解任委員会

- ・開催日時 平成 29 年 2 月 22 日水曜日 14:00～14:50
- ・開催場所 フラワーホーム多目的室
- ・出席委員 定数 4 人：藤谷文孝（外部委員）、藏園輝美（監事）
中山雅徳・丸山豊美（事務局）
- ・議 題 第 1 号議案 社会福祉法人山陵会 評議員選任・解任委員会について
第 2 号議案 評議員候補について
第 3 号議案 その他について

平成 28 年度監事監査実施状況

- ・開催日 平成 29 年 5 月 29 日月曜日
- ・開催場所 フラワーホーム多目的室
- ・出席監事 定数 2 人：藏園輝美 斎藤士郎
- ・本部出席 理 事：徳永正義 徳永清美
- ・事務局 園 長：瀬戸口司
事務長：中山雅徳
課 長：丸山豊美
- ・監査項目 社会福祉施設監事監査調書より
法人経営、法人事業、法人管理、施設運営、施設サービス、施設会計処理共通、施設会計処理（特養固有）以上 564 項目

平成 29 年度（第 1 回）社会福祉法人山陵会理事会

- ・開催日時 平成 29 年 6 月 8 日木曜日 16:00～17:20
- ・開催場所 フラワーホーム多目的室
- ・理事定数 6 人
- ・出席理事 5 人：徳永正義、瀬戸口司、加来宗暁、徳永清美、黒岩尚文
- ・欠席理事 1 人：末重良規
- ・監事定数 2 人
- ・出席監事 2 人：藏園輝美、斎藤士郎
- ・議 題 第 1 号議案 平成 28 年度 事業報告について
第 2 号議案 平成 28 年度 社会福祉法人山陵会 決算書等について
第 3 号議案 平成 28 年度 社会福祉法人山陵会 決算書等について
（監事監査報告）
第 4 号議案 社会福祉充実計画案の決定について
第 5 号議案 社会福祉法人山陵会 新役員案について（役員報酬総額・基準案含）
第 6 号議案 社会福祉法人山陵会 就業規則の一部変更について
第 7 号議案 社会福祉法人山陵会 給与規定の一部変更について
第 8 号議案 特別養護老人ホームフラワーホーム（多床室）一部改修について
第 9 号議案 その他について

平成 29 年度（第 1 回）社会福祉法人山陵会定時評議員会

- ・開催日時 平成 29 年 6 月 23 日金曜日 16:00～17:00
- ・開催場所 フラワーホーム多目的室
- ・評議員定数 7 人
- ・出席評議員 6 人：外山雅利、藤井宏一、秋月啓子、大橋近義、小川博文、徳永幸次
- ・欠席評議員 1 人：植木春生
- ・議 題 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告について
第 2 号議案 平成 28 年度社会福祉法人山陵会 決算書等の承認について
第 3 号議案 社会福祉充実計画の承認について
第 4 号議案 社会福祉法人山陵会 新役員（理事・監事）の選任について
第 5 号議案 役員報酬総額・役員報酬基準について
第 6 号議案 特別養護老人ホームフラワーホーム（多床室）一部改修について
第 7 号議案 その他について

平成 29 年度（第 2 回）社会福祉法人山陵会理事会

- ・開催日時 平成 29 年 6 月 23 日金曜日 17:00～17:20
- ・開催場所 フラワーホーム多目的室
- ・理事定数 6 人
- ・出席理事 6 人：徳永正義、瀬戸口司、加来宗暁、徳永清美、黒岩尚文、末重良規
- ・欠席理事 0 人
- ・監事定数 2 人
- ・出席監事 2 人：藏園輝美、斎藤士郎
- ・議 題 第 1 号議案 理事長の互選について
第 2 号議案 業務執行理事の互選について
第 3 号議案 その他について

平成 29 年度（第 3 回）社会福祉法人山陵会理事会

- ・開催日時 平成 29 年 12 月 18 日月曜日 16:00～17:25
- ・開催場所 フラワーホーム多目的室
- ・理事定数 6 人
- ・出席理事 4 人：徳永正義、瀬戸口司、加来宗暁、徳永清美
- ・欠席理事 2 人：黒岩尚文、田島健夫
- ・監事定数 2 人
- ・出席監事 2 人：藏園輝美、斎藤士郎
- ・議 題 第 1 号議案 特養フラワーホーム機械室改修及び渡りローカ改修工事に係る業者選定について
第 2 号議案 平成 29 年度 第 1 次収支補正予算（案）社会福祉事業区分について
第 3 号議案 社会福祉法人山陵会 保有自動車管理規程の一部変更について
第 4 号議案 育児・介護休業等関する規則の一部変更について
第 5 号議案 その他について

平成 29 年度（第 2 回）社会福祉法人山陵会評議員会

- ・開催日時 平成 29 年 12 月 26 日火曜日 16:00～16:50
- ・開催場所 フラワーホーム多目的室
- ・評議員定数 7 人
- ・出席評議員 7 人：外山雅利、藤井宏一、秋月啓子、大橋近義、小川博文、徳永幸次
植木春生
- ・欠席評議員 0 人：
- ・議 題 第 1 号議案 特養フラワーホーム機械室改修及び渡りローカ改修工事に係る
業者選定について（報告）
第 2 号議案 平成 29 年度 第 1 次収支補正予算（案）社会福祉事業区分につ
いて
第 3 号議案 社会福祉法人山陵会 保有自動車管理規程の一部変更について
（報告）
第 4 号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部変更について（報告）
第 5 号議案 その他について

平成 29 年度（第 4 回）社会福祉法人山陵会理事会

- ・開催日時 平成 30 年 3 月 15 日木曜日 16:00～17:20
- ・開催場所 フラワーホーム多目的室
- ・理事定数 6 人
- ・出席理事 4 人：徳永正義、瀬戸口司、加来宗暁、徳永清美
- ・欠席理事 2 人：黒岩尚文、田島健夫
- ・監事定数 2 人
- ・出席監事 2 人：藏園輝美、斎藤士郎
- ・議 題 第 1 号議案 平成 29 年度 第 2 次収支補正予算（案）社会福祉事業区分につ
いて
第 2 号議案 平成 29 年度 第 1 次収支補正予算（案）公益事業区分について
第 3 号議案 平成 30 年度 事業計画（案）について
第 4 号議案 平成 30 年度 社会福祉事業区分当初予算（案）について
第 5 号議案 平成 30 年度 公益事業区分当初予算（案）について
第 6 号議案 施設長の任期更新について
第 7 号議案 平成 29 年度 指導監査結果報告
第 8 号議案 社会福祉法人山陵会 経理規定の一部変更について
第 9 号議案 特養フラワーホーム機械室改修及び渡り廊下改修工事について
第 10 号議案 その他について

平成 29 年度 (第 3 回) 社会福祉法人山陵会評議員会

- ・開催日時 平成 30 年 3 月 30 日金曜日 16:00～17:35
- ・開催場所 フラワーホーム多目的室
- ・評議員定数 7 人
- ・出席評議員 5 人：外山雅利、藤井宏一、秋月啓子、大橋近義、徳永幸次
- ・欠席評議員 2 人：植木春生、小川博文
- ・議 題 第 1 号議案 平成 29 年度 第 2 次収支補正予算 (案) 社会福祉事業区分について
第 2 号議案 平成 29 年度 第 1 次収支補正予算 (案) 公益事業区分について
第 3 号議案 平成 30 年度 事業計画 (案) について
第 4 号議案 平成 30 年度 社会福祉事業区分当初予算 (案) について
第 5 号議案 平成 30 年度 公益事業区分当初予算 (案) について
第 6 号議案 施設長の任期更新について
第 7 号議案 平成 29 年度 指導監査結果報告
第 8 号議案 社会福祉法人山陵会 経理規定の一部変更について
第 9 号議案 特養フラワーホーム機械室改修及び渡り廊下改修工事について
第 10 号議案 その他について

平成 29 年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホーム

【総合的な目標の総括】

施設利用者、家族が安心して過ごせるようなケアを提供することに関しては、フラワーホーム、フラワーホームユニットでの施設看取り率が 89.2%と大半の利用者が施設での看取りであった。家族の意向を尊重し、地域で最期を迎えることの支援が出来たと考える。地域貢献としては、グループや部署での取り組みはあまりなかったが地域の一斉美化作業への参加、介護予防・認知症予防の講座への職員派遣などを行った。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者や家族に不快な思いを与えないこと、不適切なケアにつながらないことを目的に利用者への丁寧な言葉遣いに努めた。各々、意識して努めることが出来ていたが、継続的に努めるには至らない職員もいた。不適切なケアの改善、減少につながったのではないかと考える。スライディングシートやスライディングボード等の福祉用具を活用し、僅かではあるが抱えない介護の実践につなげることが出来た。

食では旬の食材を取り入れ、利用者との定期的なおやつ作りも実践した。

職員教育については、県老協主催の研修会をはじめ、外部研修に定期的に参加し知識と技術の向上を図った。また、ケア会議や職員研修会の中で権利擁護やノーリフト、感染症対策などの勉強会を行い、質の向上を目指した。

12 月に開催された「第 2 回かごしま介護技能コンテスト」にエントリーし見事予選を通過し、本選に臨むことができ、技能の向上につながった。

人材確保に関しては既存特養の介護職の数を常勤換算で 20、ショートステイで 11.3 確保できた。介護職員の平成 29 年度の介護職離職者は常勤換算で 2.4 だった。

【収益的活動】

多床室の年間ベッド稼働率は 98.6%で当初目標に 0.9%届かなかった。ショートステイはベッド稼働率 92%で当初目標を 8%上回った。

また、現状算定できている加算については、職員数の確保と専門職の配置により継続して算定することができ、収入に結び付けられた。新たな加算算定として検討できた精神科医師定期的療養指導加算や認知症専門ケア加算Ⅰについては当該加算算定に必要な体勢が整えなかったことや研修を受講することができなかったことで算定には至らなかった。

【支出的活動】

オムツ外しに取り組み達成された事例は 1 件だった。排泄用品費の削減に大きく尽力はできなかったが、評価に値すると考える。浴室改修に向けて事務所と協議、検討を進行中。

【地域貢献活動】

地域貢献活動としては、あまり多くの活動はできなかった。その中で、町内一斉美化作業では地域住民と一緒に周辺の美化作業活動に参加した。地域住民向けの介護予防教室でリハスタッフが体操指導を実施した。在宅高齢者のための墓参り支援として年間 12 件以上の実績を作る為の広報活動を目指していたが、実績がなかった。

平成 29 年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホームユニット

【総合的な目標の総括】

これまでの暮らしぶりを大切にし、自分らしい暮らしが継続できるよう支援することに努めた。利用者の暮らしを知り、情報を得るツールとして 24 時間シートを作成し、職員の提供するケアにバラつきが生じないようにした。利用者毎に作成はしているが活用に至っていない部分もあるので活用に向けた積極的な取り組みが必要。

外部の方も参加する独自の学習会である高齢者福祉研究会においてユニットでの看取りについて実践報告し、ユニットでの実践、活動報告ができた。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

ユニットカフェを通じて、利用者、職員、地域住民との交流を図り少しでもユニットケアを知ってもらえるきっかけ作りができた。毎月実施した作りもんそ会での季節のお菓子作りや調理を通じて、利用者の自己有用感を持ってもらう機会にもつながった。利用者だけでなく、職員も共に楽しみ利用者との良好な関係性を築くことにもなった。職員教育については、ケア会議や職員研修会で勉強会を行い、質の向上に努めた。また、ユニット毎での月間目標を掲げ、達成できるよう職員同士尽力した。

人材確保についてはユニットの介護職の数を常勤換算で 18 確保できた。また、平成 29 年度は介護職離職者 0 だった。

【収益的活動】

年間ベッド稼働率は 99.3% で当初目標に 0.2% 届かなかった。現状算定できている加算については、職員数の確保と専門職の配置により継続して算定することができ、収入に結び付けられた。新たな加算算定として検討できた精神科医師定期的療養指導加算や認知症専門ケア加算Ⅰについては当該加算算定に必要な体勢が整えなかったことや研修を受講することができなかったことで算定には至らなかった。

【支出的活動】

排泄用品の適正利用に関して発注、管理等を担当職員が継続的に行ってはいたが排泄用品費の削減に大きく尽力はできなかった。

【地域貢献活動】

下半期には感染症流行の影響もあり、開催する機会が減ったが上半期にはユニットカフェというカフェ活動を実施し、地域住民の交流の場を提供し、楽しみ作りや認知症予防・介護予防に結びつく活動を行えた。

平成29年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	0	0	210	361	324	895
5月	0	0	0	0	217	401	310	928
6月	0	0	0	0	191	388	316	895
7月	0	0	0	0	155	434	341	930
8月	0	0	0	0	155	434	341	930
9月	0	0	0	0	150	401	330	881
10月	0	0	0	0	124	464	341	929
11月	0	0	0	0	120	420	351	891
12月	0	0	0	0	124	434	366	924
1月	0	0	0	0	124	430	362	916
2月	0	0	0	0	112	391	336	839
3月	0	0	0	0	143	410	372	925
合計	0	0	0	0	1825	4968	4090	10883

実利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	0	0	7	13	11	31
5月	0	0	0	0	7	13	10	30
6月	0	0	0	0	7	13	12	32
7月	0	0	0	0	5	14	11	30
8月	0	0	0	0	5	14	11	30
9月	0	0	0	0	5	15	11	31
10月	0	0	0	0	4	15	11	30
11月	0	0	0	0	4	14	12	30
12月	0	0	0	0	4	14	12	30
1月	0	0	0	0	4	15	12	31
2月	0	0	0	0	4	14	12	30
3月	0	0	0	0	5	14	12	31
合計	0	0	0	0	61	168	137	366

平成29年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム
特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	1	柳田合奏団リコーダーアンサンブル			柳田合奏団
	6	開園記念日			
	12～13			介護技術専門研修	
	19	非常時総合避難訓練			霧島市消防局溝辺分遣所員
	21	ごったん演奏会	高齢者福祉研究会		
	23	ハーブの集い			地域住民
	25		アクティビティと生活リハビリ		
	27	法要法話			藤谷先生
5	8～10			介護技術専門研修	
	16～18	溝辺中3年生 職場体験			溝辺中3年 4名
	17	ユニットカフェ			
	18	法要法話			加来先生
	20	ユニット家族交流会			
	22～23	鹿児島市職員指導監査勉強会			鹿児島市職員3名
	23	地震想定避難訓練			
	25		事故発生時の対応について		
	31	チャレンジデー			
6	1		新人職員内部研修会		
	3	既存特養家族交流会			
	6～8			介護技術専門研修 経営マネジメント研修会 フットケアと感染症研修会	
	12	大和会 民謡ボランティア			
	14				
	15	夜間火災想定避難訓練			陵南中学生徒
	16	陵南中学校音楽部交流			
	16～17			日本在宅医学会	実習生10名
	19	龍桜高校衛生看護科実習			藤谷先生
	20	ユニットカフェ			
	23	法要法話	ノーリフト・持ち上げない介護方法について		
	27			地区老施協看護職員研修	
7	1	竹子みどりの少年団交流			竹子みどりの少年団
	3	陵南小2年生 社会見学			陵南小2年生59名
	4	綾南幼稚園七夕交流			綾南幼稚園児
	8	龍桜高校 清掃ボランティア			
	10～25	龍桜高校医療福祉科実習			実習生5名
	17	ユニットカフェ			
	20	法要法話			加来先生
	21		高齢者福祉研究会		
	25		フットケアと感染症及び食中毒予防について		
	26	夜間火災想定避難訓練			
	31～8/3	仁心看護専門学校実習			実習生5名
8	8～9			ファーストステップ研修	
	10	ユニットタ涼み会			
	17～18			認知症ケア研修	
	21	ユニットカフェ			
	21	夜間集合避難訓練週間			藤谷先生
	22	法要法話			
	25	既存特養納涼会	事例発表会		実習生6名
	28～9/8	加治木看護専門学校実習			
9	5～6		介護職員チームリーダー養成研修	ファーストステップ研修	林田先生
	7、12			エンドオブライフ研修	
	12～13			災害派遣福祉チーム(D-WAT)養成基礎研修	
	14～15				
	14～15	龍桜高校医療福祉科実習			実習生5名
	16、17	敬老祝賀会			
	20	夜間火災想定避難訓練			
	21	法要法話			加来先生
	25	ユニットカフェ	認知症ケアについて		
	27			権利擁護推進員養成研修	

平成29年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム
特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者					
10	4～6 8 11～12 16 18 20 23 25 30, 31	ユニットカフェ 火災想定避難訓練 法要法話	高齢者福祉研究会 エンドオブライフケア	ファーストステップ研修 全国の集いin八戸 人材育成研修会 ノーリフト研修会(ベーシック3)	藤谷先生					
	11	4 8～9 9 16 20 22 25 27 28～29 29	ほぜ祭り 既存特養介護保険実地指導 ユニット介護保険実地指導 ユニットカフェ 火災想定避難訓練 風船バレー大会 法要法話	人材育成研修	ファーストステップ研修 ホスピタリティとフィジカルアセスメント研修	加来先生 玉利自治会				
		12	2 5～6 7～8 20 23 25 26 28	棒踊り奉納 夜間火災想定避難訓練 クリスマス&子供会 法要法話 介護事業安全祈願祭 餅つき茶話会	ホスピタリティとフィジカルアセスメント	ファーストステップ研修 権利擁護推進員養成研修 第2回かごしま介護技能コンテスト	藤谷先生 長谷川宮司			
			1	11～12 17～18 19 24～25 25 26 30	夜間火災想定避難訓練 法要法話	高齢者福祉研究会 拾得、高齢者虐待、人権保護、身体的虐待防止について	ファーストステップ研修 ケアプラン研修会 生活リハと食支援の具体策	加来先生		
				2	7 14 23 26	不審者対応訓練	ケアプラン研修会	地区老施協介護職員研修会 地区老施協相談員研修会	霧島警察署員	
					3	15 17 22 23 27	龍桜高校清掃ボランティア 法要法話 夜間火災想定避難訓練	事例発表会	介護報酬改定等説明会	龍桜高校生徒12名 加来先生

平成 29 年度 統計資料及び添付資料

< 1 > 利用者の出身市町村別、年齢別の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在の住所地）

n = 78

年齢 出身地	性 別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男	0	0	1	1	4	5	1	0	12	53
	女	1	1	6	4	14	6	8	1	41	
国分市	男	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
隼人町	男	0	0	0	0	1		1	0	2	11
	女	0	0	1	2	0	3	3	0	9	
横川町	男	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
	女	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
霧島町	男	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
牧園町	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
福山町	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
始良市	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	女	0	0	0	0	1	1	0	1	3	
鹿児島市	女	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2
伊佐市	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
垂水市	女	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
計		1	1	9	10	21	21	13	2	78	
平均年齢		87.9歳		最高年齢		104歳5月		最少年齢		69歳0月	
男 性		88.0歳		男 性		98歳0月		男 性		77歳0月	
女 性		87.9歳		女 性		104歳5月		女 性		69歳0月	

< 2 > 施設利用状況

事業所名		フラワーホーム			フラワーホームユニット			ショートステイ		
月	日数 (日)	日数× 50 人	入居 延べ数	稼働率	日数× 30 名	入居 延べ数	稼働率	日数 ×20 名	利用 延べ 数	稼働率
4 月	30	1,500	1,500	100%	900	895	99.4%	600	547	91.1%
5 月	31	1,550	1,550	100%	930	928	99.7%	620	607	97.9%
6 月	30	1,500	1,483	98.8%	900	889	98.7%	600	529	88.1%
7 月	31	1,550	1,542	99.4%	930	930	100%	620	528	85.1%
8 月	31	1,550	1,512	97.5%	930	930	100%	620	589	95.0%
9 月	30	1,500	1,470	98.0%	900	881	97.8%	600	506	84.3%
10 月	31	1,550	1,544	99.6%	930	929	99.8%	620	545	87.9%
11 月	30	1,500	1,451	96.7%	900	890	98.8%	600	542	90.3%
12 月	31	1,550	1,518	97.9%	930	924	99.3%	620	618	99.6%
1 月	31	1,550	1,538	99.2%	930	915	98.3%	620	612	98.7%
2 月	28	1,400	1,368	97.7%	840	840	100%	560	518	92.5%
3 月	31	1,550	1,533	98.9%	930	925	99.4%	620	575	92.7%
合計	365	18,250	18,009	98.6%	10,950	10,876	99.3%	7,300	6,716	92.0%

*小数第 2 位以下切り捨て

< 3 > 介護度の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在) n = 78

性別	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均介護度
男	0	0	1	6	10	17	4.52
女	0	0	7	22	32	61	4.40
計	0	0	8	28	42	78	4.43

< 4 > 要介護認定更新の推移

	年齢	性別	前回介護度	今回介護度	結果
フラワーホーム	95 歳	男性	4	4	維持
	90 歳	女性	4	5	進行
	69 歳	女性	5	5	維持
	79 歳	女性	4	4	維持
	89 歳	女性	5	5	維持
	86 歳	女性	5	4	改善
	77 歳	女性	2	3	進行
	97 歳	女性	3	3	維持
	82 歳	女性	3	3	維持
	84 歳	女性	4	4	維持
	87 歳	女性	3	5	進行
	91 歳	女性	5	5	維持
	90 歳	女性	4	5	進行
	84 歳	女性	5	5	維持
	95 歳	女性	5	5	維持
	91 歳	男性	4	5	進行
	88 歳	女性	4	4	維持
	91 歳	男性	5	4	進行
	85 歳	男性	3	4	進行
	83 歳	男性	4	4	維持
	92 歳	男性	4	5	進行
	85 歳	女性	5	5	維持
	87 歳	女性	5	5	維持
	92 歳	女性	5	5	維持
	86 歳	女性	5	5	維持
	94 歳	女性	5	5	維持
ユニット	95 歳	女性	4	4	維持
	79 歳	男性	2	3	進行
	92 歳	女性	3	4	進行
	84 歳	男性	4	5	進行
	87 歳	女性	5	5	維持
	70 歳	女性	5	5	維持
	85 歳	女性	3	3	維持
	86 歳	男性	5	5	維持
	82 歳	女性	3	3	維持
	85 歳	男性	3	4	進行
	86 歳	女性	3	4	進行
	98 歳	男性	3	4	進行
	93 歳	女性	1	3	進行
	76 歳	女性	4	4	維持
	79 歳	女性	5	4	改善

	95 歳	女性	3	4	進行
	90 歳	男性	5	5	維持
	91 歳	女性	4	4	維持
	84 歳	女性	3	3	維持
	93 歳	女性	4	4	維持
	91 歳	男性	5	5	維持
	76 歳	女性	3	5	進行
		介護度維持	介護度進行	介護度改善	改善率
	フラワーホーム	17 名	8 名	1 名	3.8%
	フラワーホームユニット	12 名	9 名	1 名	4.5%
	合 計	29 名	17 名	2 名	4.2%

＊平成 28 年度、介護保険更新認定 80 名中 46 名の結果

< 5 > 退所状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
フ ラ ワ ー ホ ー ム	85 歳	女性	平成 29 年 5 月 31 日	死亡
	90 歳	女性	平成 29 年 6 月 1 日	死亡
	80 歳	男性	平成 29 年 6 月 21 日	死亡
	82 歳	男性	平成 29 年 8 月 27 日	死亡
	85 歳	女性	平成 29 年 9 月 28 日	長期入院
	83 歳	男性	平成 29 年 10 月 11 日	死亡
	83 歳	女性	平成 29 年 10 月 13 日	死亡
	89 歳	男性	平成 29 年 10 月 26 日	死亡
	97 歳	女性	平成 29 年 11 月 14 日	死亡
	85 歳	女性	平成 29 年 12 月 2 日	死亡
	62 歳	男性	平成 29 年 12 月 7 日	長期入院
	95 歳	女性	平成 29 年 12 月 31 日	死亡
	87 歳	女性	平成 30 年 1 月 6 日	死亡
	94 歳	女性	平成 30 年 2 月 7 日	死亡
	84 歳	女性	平成 30 年 2 月 11 日	死亡
	85 歳	女性	平成 30 年 2 月 15 日	死亡
	89 歳	女性	平成 30 年 2 月 23 日	死亡
	91 歳	男性	平成 30 年 3 月 29 日	死亡
	86 歳	女性	平成 30 年 3 月 29 日	死亡
ユ ニ ッ ト	89 歳	男性	平成 29 年 4 月 1 日	死亡
	86 歳	男性	平成 29 年 4 月 30 日	死亡
	92 歳	男性	平成 29 年 6 月 17 日	死亡
	89 歳	男性	平成 29 年 6 月 28 日	死亡
	75 歳	男性	平成 29 年 6 月 28 日	死亡
	94 歳	女性	平成 29 年 9 月 14 日	死亡
	96 歳	女性	平成 30 年 1 月 10 日	死亡
	81 歳	男性	平成 30 年 1 月 21 日	死亡
	76 歳	女性	平成 30 年 3 月 8 日	多床室に転居
		退所者数	看取り介護数	施設看取り率
	フラワーホーム	19 名	17 名	89.4%
	フラワーホームユニット	9 名	8 名	88.8%
	合 計	28 名	25 名	89.2%

< 6 > 事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	異食	その他
35	21	5	38	8	1	37

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
39	68	12	10	3	0	13

(発生時間帯)

深夜 0 : 00 ~ 4 : 00	早朝 4 : 00 ~ 8 : 00	午前 8 : 00 ~ 12 : 00	午後 12 : 00 ~ 16 : 00	夕方 16 : 00 ~ 20 : 00	夜間 20 : 00 ~ 0 : 00
16	17	42	30	30	10

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
93 歳 女性 (ショートステイ)	転落	0 : 05 記録のために対象者から目を離していたところ、「あいた」と声がしたため駆け付けると 20 cm 程の段差の吐き出し窓から車椅子ごと転落していた。前頭部に擦過傷。腫脹ややあり。嘱託医から朝まで様子観察し急変時には緊急搬送の指示。明朝、明らかな骨折や意識障害は確認されなかった。家族へは説明と謝罪を行い、医療費負担をした。保険者に連絡。
85 歳 女性 (多床室)	転倒	朝食時間中に、トイレから「痛い、痛い」と声がしたため、駆け付けると対象者が開放したフットレストの間に両足が交差した状態で座り込んでいた。対象者から右膝と右大腿部外側の痛み訴えあり、ベッドへ寝かせた。看護師から嘱託医に報告し、往診。日曜日ということもあり、湿布貼付で様子観察の指示。翌日、膝周辺部の腫脹あり、嘱託医から整形外科受診の指示。右大腿骨骨折の診断。入院、手術となった。家族には説明しお詫びをした。損害賠償等の話は出なかった。必要があれば誠意を持って対応する考えだった。今回の事故については予見が難しかった。保険者に連絡。
88 歳 女性 (ショートステイ)	誤薬	17:45 頃 夕食後の服薬介助の際、介護職 2 名で薬袋に印字されていた利用者名の確認をして薬袋を本人の所へ持って行った。薬袋を開封し、服薬介助を行った。本人が服薬した段階で別の介護職が薬袋が収納されている専用のケースに対象者の薬袋が残っていることに気付いた。その時点で他者の薬を対象者に服薬したことに気付いた。姓は異なるが同名の方の利用者だった。看護師から家族に状況報告と謝罪をした。翌日以降、著しい状態悪化等なかった。保険者に連絡。

< 7 > 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
入所者家族 (相談)	母親を退所させて自分が住む近くの施設(有料老人ホーム)に移れないだろうか。母の面会に 1 回でも多く来ることができるのではないだろうか。	申し出人の思いを汲み取りつつ、有料老人ホームとなれば特養よりも経済的な負担が大きくなることや先方に空きがあるかどうか定かではないことを伝えた。相談の間に申し出人の気持ちの整理もつき、引き続き特養での生活をお願いしたいとのことだった。
入所者家族 (相談)	施設嘱託医からの病状説明を経て、入院中の入所者(経管栄養)が退院後に施設でどのような支	入所者の今後のことで家族の意向確認と施設での生活が再開となった時のこと等について双方

	援をしていく必要があるか。家族の意向確認も含めた相談。	の考えや思いを共有する場を設けた。 互いの考えを分かり合えることができた。
霧島市社協	対象者は社協の日常生活自立支援事業を利用している。また、司法書士が成年後見監督人となっている。平成 30 年 2 月分の利用料引き落としが出来なかったとの問い合わせが社協側からあった。	司法書士事務所、霧島市社協と幾度かやり取りを経た。社協と司法書士事務所とのやり取りで引き落とし用の口座を変更する手続きを行った。引き落としが出来なかった当該月の利用料に関しては社協が施設に出向き、直接窓口で支払うことになった。

< 8 > 職員数

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	介護支援専門員	機能訓練指導員	障害者支援員	管理栄養士 栄養士	歯科衛生士	調理員	企画室	総務
1	5	1	52 (15)	6 (1)	4	1	1	4	2 (2)	5 (5)	2	6 (6)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 52 名中「介護福祉士」有資格者 43 名

* 看護職員 6 名中「看護師」3 名「准看護師」3 名

* 栄養士 4 名中「管理栄養士」3 名「栄養士」1 名

* 総務は洗濯、清掃、送迎業務に従事、総務員 6 名中 2 名は障害者雇用

< 9 > 入職者数

年代 職種	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員	0	2	4	3	1	0	10
うち介護福祉士	0	2	3	2	1	0	8
機能訓練指導員	0	0	0	1	0	0	1
調理員	0	0	1	0	1	1	3
歯科衛生士	0	0	0	0	0	0	0
計	0	4	8	6	3	1	23

< 10 > 退職者数

性別／年代	在職期間	職種
女性 20 代後半	4 年 6 ヶ月	介護職員（正社員）
女性 20 代前半	4 年 4 ヶ月	介護職員（正社員）
女性 10 代後半	4 ヶ月	調理員（非常勤）
女性 50 代後半	1 年 10 ヶ月	介護職員（非常勤）

* 介護職員の平成 29 年度離職率 5.7% （平成 29 年 4 月 1 日在職者 52 人を分母）

平成 29 年度 事業報告

フラワーホームデイサービスセンター

【総合的な目標】

集団レクの脱却を目指したが現状の大きな変化はなかった。利用者の「やってみたい」という気持ちを大切にするため選択レク等を実施したが、利用者主体ではなく職員主体の傾向にあった。また、利用者の「してみたい」声に外出活動を通じて応えたが、一人ひとりには応えられず、プログラムの準備が不十分であった。利用者の心身の状況や生活習慣、暮らしの意向を理解し、興味・関心を引き出す努力が足りなかった。認知症ケアでは問題行動の多い利用者には集中的にケアを行えたが、その方以外の対応は特化した取り組みは不十分であった。家族においては年2回の家族会を通じて悩みを共有し、デイでの様子を伝える事ができた。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

入浴環境改善のため脱衣場のドアをアコーディオンカーテンに変更し、入室人数の制限を行うことで混雑を解消しました。しかし曜日によって混雑する日があるため、更なる工夫が必要です。機能訓練は一人ひとりに応じたプログラムを作成しているが、主体的に行える工夫が必要と感じている。日々の生活の中で、意図的に訓練が行える工夫も必要である。和室、作業室、リラクゼーションスペースの環境改善は現在も検討中です。利用者一日ひとりに応じた一日の過ごし方が提供できるように、入浴、レクリエーション、食事、機能訓練のサービス全体の支援の考え方を検討している。

【収益的活動】

昨年の実績・予算を達成できなかった。原因として、中重度利用者の体調不良によるキャンセルの増加やサービス終了者が多かった点が挙げられる。認知症加算は昨年と同様に算定し収益を上げた。自主事業として「自費デイサービス事業」を行い、総合事業の回数制限を超えた利用者に対してサービスを行った。

【支出的活動】

作業室入口のスロープ設置。脱衣場入口のドアをアコーディオンカーテンに変更した。身障トイレ2つ増築予定、個浴や個室の設置を検討したが、行えなかった。

【地域貢献活動】

デイサービス単独での介護保険事業に準じた地域貢献活動は出来なかったが、町内一斉美化作業では地域住民と一緒に周辺の美化作業活動に参加した。

平成29年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームデイサービスセンター

延べ利用者数

単位 : 人

	総合事業	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	35	29	120	202	173	106	34		664
5 月	51	20	114	229	189	96	42	7	697
6 月	68	22	95	213	201	52	39	6	628
7 月	76	18	87	198	216	32	43	13	607
8 月	84	21	61	217	222	56	44	7	628
9 月	114	12	41	208	220	59	37	3	580
10月	125	13	26	196	195	80	40		550
11月	130	11	23	168	204	87	36		529
12月	127	13	15	165	210	93	36		532
1 月	122	9	8	191	197	85	47		537
2 月	138	0	8	170	162	79	44		463
3 月	153	0	0	155	171	83	41		450
合計	1223	168	598	2312	2360	908	483	36	8088

実利用者数

単位 : 人

	総合事業	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	8	7	16	23	20	8	5		79
5 月	11	6	14	26	23	8	4	2	83
6 月	13	6	11	26	23	6	5	1	78
7 月	15	5	11	25	22	4	5	2	74
8 月	17	5	8	27	22	6	5	1	74
9 月	21	3	6	27	22	7	5	1	71
10月	22	3	3	24	21	10	5		66
11月	24	3	3	23	22	10	5		66
12月	24	3	2	22	21	11	5		64
1 月	23	3	1	25	21	10	5		65
2 月	26	0	1	23	20	11	5		60
3 月	27	0	0	24	21	14	6		65
合計	231	44	76	295	258	105	60	7	1076

平成29年度 行事及び研修実績表

フラワーホームデイサービスセンター

月	行事	日	内部研修	日	外部研修	日	来園者
4	花見週間 ゲートボール 苗物買い カレンダー書き・体力測定	10 10 25	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	21	高齢者福祉研究会	6	ボランティア(どんとこい民踊みぞべ)
5	社会見学 お菓子作り カレンダー書き・体力測定	5 10 10 25	事業所情報連絡会 ケアサービス会議 リーダー会議 在宅部門職員研修会			26	デイサービス家族会
6	バラ園見学 衛生週間 身体を動かそう テーブルレクリエーション カレンダー書き・体力測定	9 9 26	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会			22 23 27	龍桜高校看護科3年 龍桜高校看護科3年 龍桜高校看護科3年
7	七夕作り そうめん流し(アルプス) ボランティア・自由工作 カレンダー書き・体力測定	5 10 10 21 25	事業所情報連絡会 ケアサービス会議 リーダー会議 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会	19	集団指導(一ノ宮)	10 17 19 21 24	龍桜高校医療福祉科2年 ボランティア(涼栄会) ボランティア(藤若流) ボランティア(花鷗会) ボランティア(えがおの架け橋)
8	夏祭り 買い物週間 盆団子作り 身体を動かそう カレンダー書き・体力測定	9 10 10 25	事業所情報連絡会 リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	8.9 17.18	ファーストステップ研修(一ノ宮) 認知症ケア研修会(片平)	22 23 29	ボランティア(霧島アマービル) 高陵寺学童 加治木看護実習生
9	ぶどう狩り 敬老会 文化祭に向かって カレンダー書き・体力測定	6 11 11 26	事業所情報連絡会 ケアサービス会議 リーダー会議 在宅部門職員研修会	5.6 7 12	ファーストステップ研修(一ノ宮) 介護職員チームリーダー研修(片平) 介護職員チームリーダー研修(一ノ宮)	5 12 13 14 15 26	加治木看護実習生 ボランティア(仲良会) ボランティア(今林様) ボランティア(花鷗会) ボランティア(みすず会) 陵南中職場体験
10	十五夜 運動会 文化祭に向かって カレンダー書き・体力測定	10 10 11 25	リーダー会議 ケアサービス会議 事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	4~6	ファーストステップ研修(一ノ宮)		
11	文化祭に向かって 選択レクリエーション 文化祭 カレンダー書き・体力測定	10 10 27	リーダー会議 ケアサービス会議 在宅部門職員研修会	8.9 27.28 28.29	ファーストステップ研修(一ノ宮) 生活相談員研修会(一ノ宮) ホスピタリティとフィジカルアセスメント(石塚)	13	ボランティア(みすず会)
12	忘年会 買い物 カレンダー書き・体力測定 ゆく年くる年	11 11 13 25	リーダー会議 ケアサービス会議 事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	5 6	ファーストステップ研修(一ノ宮)	4 6 7 8	ボランティア(えがおの架け橋) ボランティア(今林夫婦) ボランティア(涼栄会) ボランティア(秋月様)
1	初笑い・正月遊び 神宮参拝 新春グランドゴルフ大会 カレンダー書き・体力測定	10 10 24 25	ケアサービス会議 リーダー会議 事業所情報連絡会 在宅部門職員研修会	11 12 19	ファーストステップ研修(一ノ宮) 高齢者福祉研究会	24	ボランティア(みすず会)
2	節分・豆まき 茶話会 テーブルレクリエーション カレンダー書き・体力測定	10 10 14 24	リーダー会議 ケアサービス会議 事業所情報連絡会 在宅職員研修会	5 7 14 20	介護予防従事者専門研修会(福山) 介護職員研修(前田) 相談員研修(山下) 通所部会・地域共生セミナー(山下)		
3	ひな祭り 春のお楽しみ週間 ボランティア カレンダー書き・体力測定	10 13 21 24	ケアサービス会議 リーダー会議 事業所情報連絡会 在宅職員研修会			12 13	ボランティア(鈴良のこまどり姉妹) ボランティア(えがおの架け橋)

< 1 > 登録利用者状況

	介護	支援	総合事業	計
4 月	56	23	8	87
5 月	60	20	11	91
6 月	61	17	13	91
7 月	57	16	15	88
8 月	61	13	17	91
9 月	62	9	21	92
10 月	60	6	22	88
11 月	60	6	24	90
12 月	57	5	24	86
1 月	61	4	23	88
2 月	60	1	26	87
3 月	65	0	27	92

< 2 > 曜日別・月別平均利用者数（定員 40 名）

	月	火	水	木	金	土
4 月	28	30	28	27	31	25
5 月	28	28	28	24	31	28
6 月	29	27	26	25	28	26
7 月	27	28	26	25	27	25
8 月	26	28	27	25	29	25
9 月	27	30	27	27	27	24
10 月	29	27	26	24	29	23
11 月	27	27	25	25	27	23
12 月	27	27	25	28	25	23
1 月	25	21	26	28	24	23
2 月	26	25	25	28	25	24
3 月	24	27	19	25	26	19
平均	27	27	26	26	27	24

少数点第一を四捨五入

< 3 > 介護度の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

性別	総合	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	計
男	5	6	6	4	2	0	23
女	22	18	15	10	4	0	69
計	27	24	21	14	6	0	92

< 4 > 利用者年代別状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

60 代	70 代	80 代	90 代
0	12	53	27

< 5 > 介護度別平均年齢状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

性別	総合	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	平均
全	87	86.6	85.0	85.5	87.5	0	86.3
男	91	83.5	80.6	79.8	95	0	86.0
女	86.2	87.6	86.8	87.9	83.8	0	86.5
最高齢 98 歳 若年齢 73 歳							

< 6 > 要介護認定更新の推移

年齢	性別	前回介護度	今回介護度	結果
85	女性	1	1	維持
89	女性	2	2	維持
92	女性	1	1	維持
92	女性	2	2	維持
89	女性	支援 2	1	悪化
84	女性	支援 1	総合 2 回数	悪化
81	女性	1	3	悪化
84	男性	2	1	改善
85	女性	支援 2	総合 2 回数	維持
89	男性	支援 1	支援 1	維持
89	女性	支援 2	支援 2	維持
85	女性	1	1	維持
87	女性	1	1	維持
95	女性	1	2	悪化
92	女性	支援 1	1	悪化
87	女性	支援 1	介護 1	悪化
84	女性	支援 2	総合 2 回数	維持
86	女性	支援 2	総合 2 回数	維持
87	男性	1	1	維持

95	女性	支援 2	総合 2 回数	維持
85	男性	3	4	悪化
84	女性	1	1	維持
83	男性	2	2	維持
87	女性	支援 1	総合 2 回数	悪化
80	男性	2	2	維持
87	女性	1	2	悪化
85	女性	総合 1 回数	総合 2 回数	悪化
86	男性	2	2	維持
95	女性	支援 2	総合 2 回数	維持
81	女性	2	2	維持
90	女性	1	1	維持
94	男性	支援 2	総合 2 回数	維持
83	女性	支援 2	1	悪化
91	男性	支援 2	1	悪化
82	女性	支援 1	総合 1 回数	維持
86	女性	支援 1	総合 1 回数	維持
80	女性	1	支援 2	改善
75	男性	1	1	維持
82	女性	支援 2	総合 2 回数	維持
77	女性	4	4	維持
94	女性	支援 2	総合 2 回数	維持
91	女性	2	2	維持
93	男性	支援 2	総合 2 回数	維持
82	男性	1	1	維持
92	女性	支援 2	総合 2 回数	維持
93	女性	支援 2	1	悪化
89	女性	1	1	維持
85	女性	支援 1	総合 1 回数	維持
89	女性	3	3	維持
90	女性	支援 2	総合 2 回数	維持
78	女性	1	1	維持
馬場	女性	支援 2	1	悪化
77	女性	支援 2	総合 2 回数	維持
80	男性	1	2	悪化
84	男性	1	2	悪化
89	女性	1	3	悪化
77	男性	1	2	悪化
88	女性	1	2	悪化
永山	女性	2	2	維持
74	男性	2	2	維持
87	女性	4	4	維持
86	女性	2	2	維持
76	女性	支援 2	総合 2 回数	維持

84	女性	2	2	維持
82	女性	1	1	維持
81	女性	3	3	維持
90	女性	1	1	維持
90	女性	1	1	維持
91	男性	支援 1	総合 1 回数	維持
83	女性	1	2	悪化
85	女性	支援 1	総合 1 回数	維持
85	女性	4	4	維持
84	女性	3	3	維持
90	女性	1	1	維持
88	女性	3	4	悪化
92	女性	支援 2	1	悪化
95	女性	2	3	悪化
84	女性	3	3	維持
93	女性	2	2	維持
94	女性	支援 2	総合 1 回数	維持
80	女性	支援 1	総合 1 回数	維持
98	女性	2	2	維持
92	女性	2	3	悪化
79	女性	2	3	悪化
85	女性	支援 2	総合 2 回数	維持
93	女性	2	2	維持
94	女性	3	3	維持
93	男性	支援 2	総合 2 回数	維持
79	女性	支援 1	総合 1 回数	維持
82	女性	2	2	維持
90	女性	2	3	悪化
85	女性	1	総合 1 回数	改善
介護度維持 63 名		介護度進行 26 名	介護度改善 3 名	改善率 3%

※平成 29 年度、介護保険更新認定 92 名の結果

< 7 > ヒヤリハットの状況
(種別)

意識低下 消失	離脱	嘔吐	つまずき ふらつき	危険予測	与薬
0	0	0	6	1	0

注意不足	送迎ミス	送迎車	閉じ込め	利用者の行為
2	1	0	1	1

(発生場所)

ホール	和室	浴室	脱衣場	トイレ	洗面所	車内	玄関	屋外	その他
2	5	1	2	0	0	1	0	0	1

(発生時間帯)

朝迎え時 8:30~9:30	午前中 9:30~12:00	午後 12:00~15:45	夕送り時 15:45~16:45
1	6	5	

< 8 > 事故の状況

(種別)

転倒・転落	外傷	皮膚剥離	打撲	その他
10	1	0	0	3

(発生場所)

食堂ホール	浴室	脱衣場	トイレ	車内
5	1	1	2	1
玄関	自宅	静養ベッド	屋外	和室
1	1	0	1	1

(発生時間帯)

朝迎え時 8:30~9:30	午前中 9:30~12:00	午後 12:00~15:45	夕送り時 15:45~16:45
2	4	7	1

< 9 > 車両事故

物損（謝罪）	物損（補償）	自車のみ	対向車
0	2	2	0

< 10 > 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
なし		

< 1 1 > 職員数

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員
1	1	7 (1)	2	1

※ () 書きは、非常勤職員数を再掲

※ 介護職員 7 名中「介護福祉士」有資格者 7 名

※ 看護職員 2 名中「看護師」1 名「准看護師」2 名

※ 機能訓練指導員は理学療法士 1 名

< 1 2 > 入職者数

年代 職種	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員	0	2	0	0	0	0
計	0	2	0	0	0	0

< 1 3 > 退職者数

性別／年代	在職期間	職種
女性 60 代後半	年 0 ヶ月	看護職員（正社員）

平成 29 年度 事業報告

フラワーホームホームヘルプサービス

【総合的な目標】

その人らしく安心して在宅で生活できるよう努めた。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

ヘルパー一人ひとりの質の向上を図るため、月 2 回の定例ミーティングやその都度困った事例（食欲が低下時の調理の内容や転倒予防など）にどのように対応すれば良いか話し合い、ケア統一を図るようにした。

【収益的活動】

利用者の健康状態の把握、異常の早期発見に努め、医師、看護師等の専門職からの指導・助言をもらい、チーム間の報連相、他部署との情報共有をしていき連携を図った。本年度より始まった日常生活総合事業では、利用回数に制限があり、それを超える場合自費となり非該当となった場合の利用者に対しても自主事業として対応した。

【支出的活動】

用紙の裏などリサイクルできるものは再利用し、こまめに電源オフで節電に努めた。

【地域貢献活動】

利用者が地域とのつながりを持ち続けることができるようサポートし、ヘルパーの役割として敬老会等の地域の行事参加のために利用者とその家族、地域の方々と連絡調整を行い、連絡を取り合う中で地域の方々とヘルパーの交流を図った。

平成29年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームホームヘルプサービス

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	40	52	162	331	118	63	0	674
5月	36	59	176	360	122	61	9	728
6月	34	53	205	350	88	69	15	727
7月	13	36	206	435	48	60	22	771
8月	13	28	187	445	61	61	19	773
9月	12	14	186	421	75	57	8	747
10月	4	12	178	396	90	61	0	725
11月	4	13	174	353	82	57	0	666
12月	5	13	129	406	93	52	0	680
1月	29	49	156	376	80	73	0	685
2月	27	57	155	324	51	78	0	608
3月	42	63	119	362	44	72	0	597
合計	259	449	2033	4559	952	764	73	8381

実利用者数

単位 : 人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	6	8	13	21	5	3	0	42
5月	5	7	14	21	5	2	1	43
6月	5	6	16	21	5	3	1	46
7月	2	4	15	25	2	2	1	45
8月	2	3	15	26	3	2	1	47
9月	2	2	14	26	6	2	1	49
10月	1	1	12	26	6	2	0	46
11月	1	1	12	22	6	2	0	42
12月	1	1	12	24	7	2	0	45
1月	2	5	13	23	5	3	0	44
2月	2	6	11	21	4	4	0	40
3月	2	9	11	22	5	3	0	41
合計	31	53	158	278	59	30	5	530

平成29年度 行事及び研修実績表

フラワーホームフラワーホームヘルプサービス

月	日	研修項目	研修内容	外部研修	参加者
4	11	ヘルパーミーティング			
	25	接遇について	マナー、言葉使い		
5	9	ヘルパーミーティング		県ホームヘルパー協議会 総会及び第1回研修会 (5/25)	樋口、飯田
	23	認知症ケアについて	症状・対応について		
6	6	調理のしかた	食中毒の種類・症状など		
	27	ヘルパーミーティング			
7	11	ヘルパーミーティング			
	25	食中毒について	減塩調理の例		
8	8	熱中症・脱水について	熱中症予防と対策		
	22	ヘルパーミーティング			
9	5	ヘルパーミーティング			
	19	事故防止について	ヒヤリハット事例		
10	10	ヘルパーミーティング			
	24	プライバシーについて	個人情報の扱い方		
11	14	感染症およびまん延防止	具体的な予防策		
		ヘルパーミーティング			
12	5	ノロウイルス・インフルエンザ	予防と対応		
	19 26	ヘルパーミーティング			
1	16	ヘルパーミーティング			
	30	緊急時対応について	手順、その時の 対応について		
2	13	ヘルパーミーティング			
	27	虐待・身体拘束 について	高齢者虐待の例		
3	13	ヘルパーミーティング			
	27	介護計画書の見直し	活動内容の明確化 および見直し		

平成 29 年度 事業報告

フラワーホーム居宅介護支援事業所

【総合的な目標の総括】

総合事業に向けて外部研修や居宅内の勉強会を実施し理解を深めて対応ができた。サービス事業所が限られている溝辺町（デイケア 1 事業所 デイサービス 2 事業所 訪問介護 1 事業所 短期入所 1 事業所）ではあるが 近隣（横川町 牧園町 始良市 隼人町）の事業所への働きかけを行い必要なサービスが提供できるよう多くの事業所との連携を行った。

しかし、転倒や肺炎等による緊急での入院も多くあった。入院により大きく ADL が低下する事も多く、在宅困難となり施設入所等になるケースも多かった。自立支援に向けた計画が転倒などのリスクを高めている一面もある。入院にあたっては出来るだけ早急に情報提供行えるようにした。

また、様々な困難事例もあり、他事業所や医療機関と連携し法人、居宅内でも議論や相談しながら対応した。医療関係者や他のサービス事業所の協力により、効率的なサービス提供に繋がっている。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

地域資源を知り利用者、家族とのアセスメントを充実することで信頼関係の強化を行った。そのことで、より有益なプラン作成に繋げることができた。施設内、居宅内研修や必要な外部研修に参加して新しい情報や理解を深めることができた。

【収益的活動】

特定事業所加算の取得が 1 月からとなり、かなりの減算になった。地域包括支援センターや地域の病院と連携し、新規契約もあったが、それ以上に契約終了の利用者が多く契約件数が増えない状況であった。また介護保険対象者であっても高度の認知機能低下により、サービスにつながらない利用者もあり今後の課題である。

【支出的活動】

必要最小限の物品を購入し経費削減を行った。大きな支出は無かった。

【地域貢献活動】

笑顔での接遇に心がけて適切に相談業務を行った。相談場所が、通所内であり家族や利用者にゆっくり話せる場所は提供できなかった。相談内容を考えて必要あればこちらから訪問するようにした。DST に参加して地域の方と意見交換したり相談に応じている。

平成29年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホーム居宅介護支援事業所

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	3	7	46	31	17	10	3	117
5 月	3	6	51	34	17	9	5	125
6 月	3	5	49	33	14	10	5	119
7 月	2	5	47	35	13	9	5	116
8 月	3	5	45	37	15	10	4	119
9 月	3	5	46	39	16	9	3	121
10月	3	4	44	39	18	9	2	119
11月	3	4	44	36	18	10	1	116
12月	3	4	40	40	20	10	2	119
1 月	3	3	40	41	18	11	1	117
2 月	3	3	37	38	19	10	1	111
3 月	4	3	35	34	22	9	1	108
合計	36	54	524	437	207	116	33	1407

年度別

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
26年度	48	47	480	394	260	133	39	1401
27年度	41	51	542	417	273	118	38	1480
28年度	35	95	476	428	217	138	30	1419
29年度	36	54	524	437	207	116	33	1407
合計	160	247	2022	1676	957	505	140	5707

年齢別

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
～74男				3	2		1	8
女					2			
75～79男			2	2	2			9
女			1	1		1		
80～84男			5	3	2			23
女			4	5	3	1		
85～89男			4	3	2			33
女			8	8	4	4		
90～94男			2	1		1		24
女			8	7	5			
95～ 男								4
女			1	1		2		
合計	0	0	35	34	22	9	1	101

平成29年度 会議・活動・研修 実績表

フラワーホーム居宅介護支援事業所

月	日	内部研修・会議	外部研修	その他
4	14	居宅内勉強会	高齢者福祉研究会	
	19	居宅内勉強会		
	25	在宅部門職員研修会		
5	2	居宅内勉強会		
	9	居宅内勉強会		
	15	居宅内勉強会		
	25	在宅部門職員研修会		
	29	居宅内勉強会		
6	3	居宅内勉強会 居宅内勉強会 在宅部門職員研修会	始良伊佐支部総会及び研修会	ケアマネ専門研修Ⅰ（3日間）
	6			
	19			
	26			
7	5	居宅内勉強会	始良伊佐支部第二回研修会 日総研研修会 県「集団指導」	ケアマネ専門研修Ⅰ（6日間）
	8	居宅内勉強会		
	10			
	15			
	17	DST会議・居宅内勉強会		
	21	在宅部門職員研修会 居宅内勉強会		
	25			
31				
8	7	居宅内勉強会	第1回介護支援専門員及び相談支援専門員合同研修会	
	16	居宅内勉強会		
	16	在宅部門職員研修会 居宅内勉強会		
	25			
	28			
9	8	DST会議		ケアマネ更新研修（2日間）
	13	居宅内勉強会		
	20	居宅内勉強会		
	25	在宅部門職員研修会		
10	2	居宅内勉強会	鹿児島県介護支援専門員第2回研修会	ケアマネ更新研修（3日間）
	9	居宅内勉強会		
	10	居宅内勉強会 DST会議 在宅部門職員研修会		
	17			
	18			
	25			
11	1	居宅内勉強会		
	6	居宅内勉強会		
	14	居宅内勉強会		
	20	居宅内勉強会		
	27	在宅部門職員研修会		
	27	居宅内勉強会		

12	4	居宅内事例検討会		
	15	居宅内勉強会		
	18	居宅内勉強会		
	25	在宅部門職員研修会		
1	4	居宅内勉強会	霧島市介護支援専門員研修会 始良伊佐支部第6回研修会	
	8	居宅内勉強会		
	16	居宅内勉強会		
	17			
	19			
	22	居宅内勉強会		
	25	在宅部門職員研修会		
	27	DST会議・居宅内勉強会		
2	3		在宅医療介護福祉研修会 県介護支援専門員協議会「第3回研修会」	
	5	居宅内勉強会		
	12	居宅内勉強会		
	16			
	19	居宅内勉強会		
	26	居宅内勉強会・在宅部門職員研修会		
3	5	居宅内勉強会	平成30年介護保険報酬改定説明会	
	12	居宅内勉強会		
	14			
	20	居宅内勉強会		
	26	居宅内勉強会・在宅部門職員研修会		

平成 29 年度 事業報告

地域包括支援センター溝辺支所

【総合的な目標の総括】

平成 29 年度は介護保険制度改正に伴い、地域支援事業である一次予防（元気まなび）二次予防（元気アップ）が平成 29 年 3 月末での終了となり、また要支援者の予防通所介護と予防訪問介護の利用者が総合事業へと移行する年度でもあった為、利用者への制度説明と理解により移行への支援を行った。元気まなび利用者約 50 名は、元気塾や JA のサロン、自主活動でのサロン活動、また地域の公民館活動に参加されている。元気アップ利用者 13 名を介護保険申請行った中、3 名の方が非該当となり、10 名の方は通所利用となった。

介護保険利用希望の方の相談により、46 名の申請の依頼を受け新規代行を行った結果、33 名の方が要介護の認定を受けたため居宅支援事業所へ繋ぎ、10 名が予防にて包括支所支援開始となり、3 名の方が非該当との結果であった。また困難事例対象者 11 名に対し行政を中心に各関係機関と連携を行い、地域ケア会議を重ね支援体制を整えた。

毎月の民生委員定例会に参加し情報共有を行ったが、2 月 15 日、高齢者が行方不明となった。包括支所として捜索に参加したが、不幸な結果となり残念であった。民生委員も把握できにくい家族もある為、実態を再認識する必要があると感じた。行方不明時の対応は消防署が主となるが、様々な事例に対し包括としての対応のマニュアルが課題となった。

平成 18 年度より包括支所設置となり一人体制であったが、地域包括支援センター強化により 29 年度支所二人体制となった。第 8 期高齢者福祉計画・第 7 期介護保険事業計画に向け、霧島市地域包括支援センターとしての役割を果たす為に、霧島市内事業所にアンケート調査を行い、包括としての改善部分を把握し、包括本所、支所と話し合いを重ね、霧島市に提言書を作成した。多岐にわたり包括としての役割が増える中、改善部分等それぞれ業務分担を明確にし、包括支援センターとしての役割が果たせるように本所、支所ともに分担し現在も取り組んでいる。

平29年度 行事及び研修実績表

地域包括支援センター溝辺支所

月	日	行事	日	内部研修	日	外部研修
4	5	包括業務連絡協議会	3・17 21 25	居宅ミーティング 高齢者福祉研究会 在宅部門職員研修会		
	7	圏域個別ケア会議				
	11	児童・民生委員協議会				
	11・14	DST家族交流会会議				
	19	あしたば会				
	20	包括・法人連絡会				
	23	はーぶのつどい家族交流会開催				
	25	よいやんせ運営推進会議				
5	8	包括業務連絡協議会	10 2. 9. 15. 29 25	リーダー会議 居宅ミーティング 在宅部門職員研修会	26	県包括・在介協議会総会
	9	DST家族交流会会議				
	12	権利擁護部会				
	16	民生委員定例会				
	24	ふもとの家運営推進会議				
	24	白梅運営推進会議				
	16・21	圏域個別ケア会議				
	30・31	圏域個別ケア会議				
	30	溝辺地区協議体				
6	5	包括業務連絡協議会	26 5. 12. 19	在宅部門職員研修会 居宅ミーティング	12～14	介護支援専門員研修 1
	6	DST家族交流会会議				
	8	法人理事会				
	13	民生委員定例会				
	16	始良・伊佐ケアプラン点検				
	26	溝辺地区協議体				
	8・30	圏域個別ケア会議				
	27	よいやんせ運営推進会議				
7	5	包括業務連絡協議会	25 3・17・31 10	在宅部門職員研修会 居宅ミーティング リーダー会議	4～6 19～21 26	介護支援専門員研修 1 介護支援専門員研修 1 介護予防従事者研修
	11	民生委員定例会				
	14	権利擁護部会				
	21	システムデモ				
	24	圏域個別ケア会議				
	26	ふもとの家運営推進会議				
	31	溝辺地区協議体				
8	3	包括支所業務連絡協議会	10 25 8. 28	リーダー会議 在宅部門職員研修会 居宅ミーティング	10 23・24	地域支援強化事業研修 包括・在介リーダー研修
	4	圏域個別ケア会議				
	7	包括業務連絡協議会				
	16	包括主催研修				
	17	民生委員定例会				
	17	霧島市入所判定委員会				
	18	システムデモ				
	22	DST家族交流会開催				
	24	溝辺地区協議体				
	26	はーぶのつどい家族交流会開催				
	28	霧島市このゆびとまれ会議				
	7. 11. 18. 22. 25	包括ワーキング会議				
	29	よいやんせ運営推進会議				
9	6	包括業務連絡協議会	4. 15. 20. 25	居宅ミーティング リーダー会議 全国の集い事前発表会 在宅部門職員研修会		
	9	霧島市このゆびとまれ				
	22	権利擁護部会				
	22	白梅運営推進会議				
	28	溝辺地区協議体				
10	5	包括業務連絡協議会	2. 9. 17. 23 10 25	居宅ミーティング リーダー会議 在宅部門職員研修会	13 25	県包括・在介職員研修 地域支援事業研修
	5. 13. 18. 23	包括ワーキング会議				
	19	DST家族交流会会議				
	24	ひとり暮らしの集い				
	26	溝辺地区協議体				
	30	よいやんせ運営推進会議				

11	6 14 14 14 29	包括業務連絡協議会 民生委員定例会 システム説明 地域のひろば実態調査 溝辺地区協議体	6. 20. 27 13 27	居宅ミーティング リーダー会議 在宅部門職員研修会		
12	1 6 12 15 18. 25	DST家族交流会会議 包括業務連絡協議会 民生委員定例会 包括・法人連絡会 包括ワーキング会議	4. 15. 18. 25 11 25	居宅ミーティング リーダー会議 在宅部門職員研修会	4～8 18	主任ケアマネ更新研修 霧島市共生社会研修
1	12 16 17 23 24 27 31	包括業務連絡協議会 民生委員定例会 包括主催研修 DST家族交流会会議 包括マニュアル作成会議 はーぶのつどい家族交流会開催 溝辺地区協議体	12. 22. 29 24 26	居宅ミーティング 法人内事業所連絡会 高齢者福祉研究会	15～17 24	主任ケアマネ更新研修 地域包括ケア研修
2	9 9. 14. 15 14 22 23 27	包括業務連絡協議会 包括業務作業部会 民生委員定例会 圏域個別ケア会議 溝辺地区協議体 みそめの里運営推進会議	5. 12. 19 24 27	居宅ミーティング 法人内事業所連絡会 在宅部門職員研修会	5 20	介護予防従事者研修 地域共生セミナー
3	1 6 7 14 15. 19. 22 16 20 22 24 26. 29 26 30	包括・法人連絡会 DST家族交流会会議 包括業務連絡協議会 民生委員定例会 包括マニュアル作成会議 権利擁護部会 このゆびとまれ打ち合わせ あしたば会 このゆびとまれ横川地区 包括業務連絡協議会 白梅運営推進会議 法人評議委員会	5. 12. 19 21	居宅ミーティング 法人内事業所連絡会	20	入退院支援ルール説明会

平成 29 年度 事業報告

デイサービス 白梅

【総合的な目標の総括】

利用者が在宅生活の継続ができるよう努力した。しかし、認知症の重度の方や医療的なケアを必要とする方、独居生活の方などが多く、だんだんと在宅生活が遠ざかる気配を感じながらのケアだった。その中で、できなくなったことばかりに目を向けるのではなく、できていることを支援することを意識して利用者に向き合うことができた。ゆったりとした雰囲気の中で、スタッフや他利用者と交流を持ちながら過ごすことができ、利用者の満足感に繋がっていた。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者の思いを聞き、運動やレクリエーション、お出かけ活動などに取り組んだ。小規模事業所ということで、利用者同士も気心が知れており、本来なら認知症の方の同じことを何度も言うといった、ストレスを感じる場面でも笑って受け流せる関係性は白梅の良さであった。家庭的な環境の中で調理等を取り入れることもあったが、日常化はできず、特別な行事のような形の支援になってしまった。

職員は利用者の状態変化や状態悪化への対応に苦慮しつつ、みんなで話し合いながら、成長することができた。それぞれが役割に責任を持ち、仕事に取り組めた。

【収益的活動】

前期においては比較的収益を見込めたが、利用者の健康状態の悪化や独居生活の継続が困難となり後期は利用者が急激に減少した。要支援の方々は状態に応じて利用回수에制限が設けられたため、自費利用も可能となるよう整備をした。利用自体はそう多くはなかったが、家族の都合で利用するケースもあった。

【支出的活動】

経費削減に取り組むことができた。計画では、バスボードや手すりの設置を盛り込んでいたが、必要性が低く実行しなかったが浴室における事故は0件だった。

【地域貢献活動】

論地公民館で2回地域交流会を開催し、体操やレクリエーションを通して地域住民に介護予防の取り組みを伝えた。

平成29年度 月別介護度別利用実績一覧表

デイサービス 白梅

延べ利用者数

単位 : 人

	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	0	113	69	25	0	0	207
5月	0	0	0	116	72	32	0	0	220
6月	0	0	0	124	66	26	0	0	216
7月	0	2	13	99	89	25	0	0	228
8月	0	3	15	104	92	26	0	0	240
9月	0	4	12	101	96	26	0	0	239
10月	0	4	12	88	91	26	0	0	221
11月	4	4	10	70	73	26	3	0	190
12月	1	3	7	38	75	26	9	0	159
1月	4	4	8	24	56	24	3	0	123
2月	4	3	11	25	52	24	6	0	125
3月	4	4	7	20	46	40	1	0	122
合計	17	31	95	922	877	326	22	0	2290

実利用者数

単位 : 人

	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	0	14	8	1	0	0	23
5月	0	0	0	13	8	2	0	0	23
6月	0	0	0	14	8	1	0	0	23
7月	0	1	2	12	10	1	0	0	26
8月	0	1	2	12	10	1	0	0	26
9月	0	1	2	12	11	1	0	0	27
10月	0	1	2	10	12	1	0	0	26
11月	1	1	2	9	10	1	1	0	25
12月	1	1	2	7	11	1	1	0	24
1月	1	1	2	6	10	1	1	0	22
2月	1	1	2	5	8	1	1	0	19
3月	1	1	2	3	9	2	1	0	19
合計	5	9	18	117	115	14	5	0	283

平成29年度 行事及び研修実績表

デイサービス 白梅

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4		花見（桜、藤、つつじ） 石鹼作り、ちぎり絵 菜園作り、ゴッタン演奏会 味噌作り、山菜採り	19 非常時避難訓練 26 職員研修会		
5		あくまき作り、散歩 花植え、はり絵 かからん団子作り から芋植え、バラ園見学	15 地域交流会 24 運営推進会議 26 職員研修会		
6		梅干し作り、 あじさい見物、菖蒲見物 びわ採り、梅ジャム作り 竹川峡ソーメン流し	7 事業所情報連絡会 26 職員研修会		大正琴ボランティア
7		七夕 絵手紙、梅干作り 漬物作り	21 職員研修会	13 集団指導	
8		屋内レクリエーション 雑巾作り、折り紙 ちぎり絵、にがごり漬け	28 職員研修会		
9		ぶどう狩り、お菓子作り 案山子見物、敬老会 散歩、手芸 芋掘り	22 運営推進会議 29 職員研修会	7 チームリーダー養成研修 12 チームリーダー養成研修	大正琴ボランティア
10		がね作り、菜園作り 焼き芋作り、ちぎり絵 運動会、コスモス見物 色塗り、遠足	27 職員研修会	11 県老 人材育成研修	
11		ほぜ祭り、菊祭り 味噌作り、紅葉狩り 蕎麦打ち、はり絵 屋内レクリエーション	22 職員研修会	28 ホスピタリティとフィジカルアセスメント	
12		花植え、屋内レク 忘年会、門松作り 大掃除、ちぎり絵			踊りボランティア
1		初詣、正月遊び 工作、塗り絵、ちぎり絵 読書、屋内レク	29 職員研修会		
2		節分豆まき、散歩 脳トレ、屋内レク 色塗り、お出かけ活動	17 地域交流会 27 職員研修会	5 介護予防従事者専門研修 7 地区老 介護職員研修会	
3		佃煮作り、屋内レク お出かけ活動、散歩 花見、山菜採り 漬物作り	26 運営推進会議 26 職員研修会		

< 1 > 登録利用者状況

	介護	支援	事業対象	計
4 月	23	0	0	23
5 月	23	0	0	23
6 月	23	0	0	23
7 月	23	3	0	26
8 月	23	3	0	26
9 月	24	3	0	27
10 月	23	3	0	26
11 月	21	3	1	25
12 月	20	3	1	24
1 月	18	3	1	22
2 月	15	3	1	19
3 月	15	3	1	19

< 2 > 曜日別・月別平均利用者数（定員 12 名）

	月	火	水	木	金	土
4 月	8	8	9	8	7	9
5 月	9	8	9	6	7	10
6 月	8	9	10	7	7	10
7 月	7	8	11	7	9	11
8 月	7	10	10	7	10	10
9 月	8	10	11	7	10	10
10 月	6	10	11	6	8	10
11 月	5	11	8	6	5	10
12 月	5	7	7	6	6	6
1 月	6	4	7	4	6	5
2 月	7	4	6	3	6	6
3 月	6	4	4	3	4	6
平均	7	8	9	6	7	9

少数点第一を四捨五入

< 3 > 介護度の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

性別	事業対象	支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	計
男	0	0	0	1	3	0	1	0	5
女	1	1	2	2	6	2	0	0	14
計	1	1	2	3	9	2	1	0	19

< 4 > 利用者年代別状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

60 代	70 代	80 代	90 代
0	1	10	8

< 5 > 介護度別平均年齢状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

性別	事業対象	支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	平均
全	79	90	88	89.3	87.2	90	92	0	87.8
男	0	0	0	87	84.6	0	92	0	86.5
女	79	90	88	90.5	88.5	90	0	0	88.3
最高齢 97 歳 若年齢 79 歳									

< 6 > 要介護認定更新の推移

年齢	性別	前回介護度	今回介護度	結果
86 歳	女性	2	3	進行
97 歳	女性	1	1	維持
90 歳	女性	1	支援 1	改善
84 歳	女性	1	1	維持
89 歳	男性	2	2	維持
88 歳	女性	1	2	進行
92 歳	男性	1	4	進行
93 歳	女性	2	2	維持
80 歳	男性	1	2	進行
85 歳	男性	1	2	進行
87 歳	男性	1	1	維持
82 歳	女性	2	2	維持
93 歳	女性	2	2	維持
94 歳	女性	3	3	維持
91 歳	女性	2	2	維持
84 歳	女性	2	2	維持
85 歳	女性	支援 2	支援 2	維持
介護度維持		介護度進行		改善率
11 名		5 名		0.05%

※平成 29 年度、介護保険更新認定 17 名の結果

< 7 > ヒヤリハットの状況

(種別)

窒息	フラツキ	一人でいなくなる	服薬
2	1	0	1

(発生場所)

台所	和室	浴室	脱衣場	トイレ	洗面所	屋外
2	0	0	0	0	0	2

(発生時間帯)

朝迎え時 8 : 30 ~ 9 : 30	午前中 9 : 30 ~ 12 : 00	午後 12 : 00 ~ 15 : 45	夕送り時 15 : 45 ~ 16 : 45
0	0	4	0

< 8 > 事故の状況

(種別)

転倒・転落	外傷	皮膚剥離	服薬	その他
3	0	0	0	0

(発生場所)

台所	和室	浴室・脱衣場	トイレ	屋外
0	2	0	0	1

(発生時間帯)

朝迎え時 8 : 30 ~ 9 : 30	午前中 9 : 30 ~ 12 : 00	午後 12 : 00 ~ 15 : 45	夕送り時 15 : 45 ~ 16 : 45
0	1	1	1

< 9 > 車両事故

物損 (謝罪)	物損 (補償)	自車のみ	対向車
1	0	0	0

< 10 > 職員数

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員
1	1	3 (1)	1	1

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 3 名中「介護福祉士」有資格者 2 名

* 看護職員 1 名中「看護師」1 名「准看護師」0 名

* 機能訓練指導員は看護職員と兼務

< 11 > 入職者数

年代 職種	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0

< 12 > 退職者数

性別／年代	在職期間	職種
女性 40 代前半	4 年 8 ヶ月	介護職員 (パート)
男性 60 代後半	3 年 4 ヶ月	介護職員 (非常勤)
女性 30 代後半	3 年 8 ヶ月	看護職員 (正社員)
女性 60 代前半	8 年 6 ヶ月	介護職員 (非常勤)

平成 29 年度 事業報告

小規模多機能ホームふもとの家

【総合的な目標の総括】

利用者一人ひとりが住み慣れた自宅や地域で生活が出来るよう、本人が通い続けていた地域のグランドゴルフに職員も一緒に参加し、地域の方から以前の暮らしを聞くことが出来たが、全利用者に対して住み慣れた地域へ出向いての個別的な援助は出来なかった。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

平成 29 年度は、6 名の新人が入職した。それぞれ病院や特養での介護経験があったが、小規模多機能ホームでの業務は初めてであり、利用者ケアについても戸惑いが多かったように思う。また、利用者についても新入職員が慣れるまでの間は、業務に追われてしまい、利用者が希望する「～したい」を叶えることがほとんど出来なかった。しかし職員間で連携もとれるようになった時期からは、職員が自主的に利用者のことを考え、自ら行動が出来るようになり全利用者ではないが、本人の「～したい」を叶えることが出来た。

【収益的活動】

平成 29 年度は、11 名の利用者が契約解除となったが 12 名の新規利用者を受け入れることが出来た。また年度始めは介護予防の方が 5～6 名いたのに対し、年度末は 1～2 名となり、登録者数に占める要介護の利用者が増えた。しかし、登録者数を常に 29 名にすることが出来ず、当初予定して予算に届かずにマイナス補正を組むことになってしまった。

【支出的活動】

利用者の中には認知症の方が多く、職員が一人になる夜間帯において離園してしまうことがあった為、ふもとの家の同敷地内にある高齢者住宅を含めて、夜間帯は警備保障会社に業務委託を行った。

【地域貢献活動】

平成 28 年度から A コープの移動販売車が毎週来てくれるようになったが、地域の方の利用が少なかった為、公民館長へ観覧版を用いて、移動販売車が毎週来ることを周知してもらったが、まだまだ利用は少ない状況である。

平成29年度 月別介護度別利用実績一覧表

小規模多機能ホームふもとの家

延べ利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	95	43	90	158	148	60	60	654
5 月	102	60	91	152	129	62	62	658
6 月	69	59	89	163	151	60	60	651
7 月	71	31	112	169	184	62	62	691
8 月	66	28	71	197	155	93	31	641
9 月	60	30	73	194	123	90	50	620
10月	31	30	149	191	118	93	62	674
11月	30	30	150	178	130	90	60	668
12月	31	29	183	169	155	93	61	721
1 月	30	28	191	160	188	93	34	724
2 月	28	25	176	136	176	56	84	681
3 月	0	29	226	142	189	89	93	768
合計	613	422	1601	2009	1846	941	719	8151

実利用者数

単位 : 人

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	4	2	5	6	6	2	2	27
5 月	4	2	4	6	5	2	2	25
6 月	3	2	5	6	6	2	2	26
7 月	3	1	5	6	7	2	2	26
8 月	3	1	3	7	6	3	1	24
9 月	2	1	3	7	5	3	2	23
10月	1	1	6	7	5	3	2	25
11月	1	1	6	7	6	3	2	26
12月	1	1	7	7	6	3	2	27
1 月	1	1	7	6	9	3	2	29
2 月	1	1	7	6	8	2	3	28
3 月	0	1	8	5	7	3	3	27
合計	24	15	66	76	76	31	25	313

平成29年度 行事及び研修実績表

小規模多機能ホームふもとの家

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	9 19 27 28	丸岡公園へ花見 大出水ドライブ お茶ったもんせ 藤祭り	4/25 小規模多機能型居宅介護について		
5	6 16 18 19 22 25	こさん竹採り、バーベキュー グランドゴルフ 三縄のバラ園見学 味噌作り 照明保育園児とおく巻き作り お茶ったもんせ	5/25 基本的な介護技術に関する研修	5/27 霧島市地域密着型サービス事業者連合会「総会・霧島市地域包括ケアセミナー」野崎	照明保育園児 ボランティア (3名)
6	3 8 9 12 22	玉ねぎ収穫 ジャガイモ収穫 台明寺溪谷ドライブ 竹中池ドライブ お茶ったもんせ	6/23 食事や嚥下に関する研修	6/14～6/15 県老協「フットケアと感染症研修」中村	
7	11 16 27 29	かき氷作り そうめん流し お茶ったもんせ 夏祭り、家族会	7/25 健康管理や薬の効能に関する研修	7/13～7/14 九社連「九州大会」野崎 7/13 霧島市「集団指導」森	ボランティア (3名)
8	4 7 15 24 28 29 30 31	蓮の花見学 照明保育園児と七夕交流会 味噌作り お茶ったもんせ 竹中池そうめん流し " " "	8/25 利用者の尊厳の実践的展開に関する研修		照明保育園児
9	5 22 25 29 30	外出活動(温泉) 敬老祝賀会、運動会 ドライブ(山田のかかし) 芋掘り 落花生の収穫	9/25 介護記録の書き方に関する研修	9/7 「介護職員チームリーダー養成研修」森 9/12 「介護職員チームリーダー養成研修」長田	
10	4 6 10 26	十五夜団子作り 味噌作り 照明保育園児交流 お茶ったもんせ	10/25 認知症及び認知症ケアに関する研修	10/11～10/12 県老協「人材育成」森	照明保育園児
11	5 12 13 14 15 23	国分ふるさと祭り よいやんせ菊祭り 高千穂牧場 " " お茶ったもんせ	11/24 非常災害時の対応に関する研修		11/15 麓原婦人部16名
12	9 21 26 31	味噌作り お茶ったもんせ 照明保育園児と餅つき そば打ち	12/25 感染症及び食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修		照明保育園児
1	16 19 21 25	鹿児島神宮参拝 こんにやく作り 新年会・家族会 お茶ったもんせ	1/25 フライハーフ保護の取り組みに関する研修	1/24～1/25 県老協「生活リハと食支援の具体策」下萩	
2	3 4	グランドゴルフ 味噌作り	2/26 事故発生等緊急時の対応に関する研修		
3	10 15 22 24	ドライブ(加治木菜の花) 味噌作り お茶ったもんせ 花見	3/23 身体的拘束等への排除のための取り組みに関する研修		

平成 29 年度統計資料及び添付資料

< 1 > 利用者の出身市町村別、年齢別の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在の住所地)

年齢 出身地	性 別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男	1	0	3	0	2	1	0	0	7	20
	女	1	1	1	2	3	4	1	0	13	
隼人町	男	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4
	女	0	0	0	1	1	1	0	0	3	
横川町	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女	0	0	0	0	1	0	1	0	2	
牧園町	男	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計		2	1	4	3	7	8	2	0	27	
平均年齢		85.0 歳		最高年齢		97 歳 1 月		最少年齢		65 歳 0 月	
男 性		83.2 歳		男 性		93 歳 1 月		男 性		69 歳 1 月	
女 性		85.9 歳		女 性		97 歳 1 月		女 性		65 歳 0 月	

< 2 > 施設利用状況

事業所名		ふもとの家	
月	登録定員	登録者数	稼働率
4 月	29	27	93%
5 月	29	25	86%
6 月	29	26	89%
7 月	29	26	89%
8 月	29	24	82%
9 月	29	23	79%
10 月	29	25	86%
11 月	29	26	89%
12 月	29	27	93%
1 月	29	29	100%
2 月	29	28	96%
3 月	29	27	93%
合計	348	313	89%

*小数第 2 位以下切り捨て

< 3 > 介護度の状況

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

性別	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均介護 度
男	0	0	2	3	3	0	1	9	2.44
女	0	1	6	2	4	3	2	18	2.48
計	0	1	8	5	7	3	3	27	2.46

< 4 > 契約解除状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
ふもとの家	76 歳	女性	平成 29 年 4 月 2 日	入院
	87 歳	女性	平成 29 年 4 月 25 日	死亡
	84 歳	男性	平成 29 年 4 月 30 日	居宅
	83 歳	男性	平成 29 年 5 月 31 日	元気塾
	93 歳	男性	平成 29 年 7 月 22 日	死亡
	76 歳	男性	平成 29 年 7 月 31 日	元気塾
	89 歳	女性	平成 29 年 8 月 23 日	入院
	83 歳	女性	平成 29 年 10 月 31 日	居宅
	72 歳	女性	平成 30 年 1 月 31 日	居宅
	87 歳	男性	平成 30 年 2 月 2 日	入院後死亡
	94 歳	女性	平成 30 年 2 月 17 日	死亡
退所者数		看取り件数		
ふもとの家		11	1	

< 5 > 新規利用者状況

	介護度	年齢	性別	登録日
ふもとの家	介護 3	93 歳	男性	平成 29 年 4 月 18 日
	介護 3	65 歳	女性	平成 29 年 6 月 1 日
	介護 1	83 歳	女性	平成 29 年 7 月 1 日
	介護 5	91 歳	男性	平成 29 年 9 月 11 日
	介護 1	90 歳	女性	平成 29 年 10 月 1 日
	介護 1	83 歳	女性	平成 29 年 10 月 16 日
	介護 1	78 歳	男性	平成 29 年 11 月 4 日
	介護 3	86 歳	男性	平成 29 年 11 月 29 日
	介護 1	83 歳	女性	平成 29 年 12 月 9 日
	介護 2	87 歳	男性	平成 30 年 1 月 17 日
	介護 3	78 歳	男性	平成 30 年 1 月 22 日
	介護 4	86 歳	女性	平成 30 年 3 月 1 日

< 6 > 事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	誤嚥	離園
20	1	6	2	1		5

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
15	10	1	1		4	4

(発生時間帯)

深夜帯 0 : 00～4 : 00	早朝帯 4 : 00～8 : 00	午前中 8 : 00～12 : 00	午後 12 : 00～16 : 00	夕方 16 : 00～20 : 00	夜間 20 : 00～0 : 00
2	6	6	14	6	1

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
89 歳 女性	転倒	夕食後、トイレからホールへ出て来る際に転倒。右側頭部から出血あり。主治医へ報告し往診。2ヶ所の傷があり縫合行う。翌日、保険者へ報告。
89 歳 女性	転倒	他の利用者が洗面台にて口腔ケアをしていた。本人がその方の後ろを通った際、口腔ケアをしていた利用者に触ってしまったのか他の利用者がお尻で本人を押してしまい転倒。主治医の往診後、骨折の疑いがあり、医療センターへ緊急搬送。左大腿部頸部骨折の診断で入院。保険者へ報告。
90 歳 男性	転倒	外で利用者と職員でグランドゴルフをしていた。本人がボールを打った弾みで転倒。主治医へ報告し往診。骨折の疑いにて医療センターへ緊急搬送。左大腿部頸部骨折の診断で入院。保険者へ報告。

< 7 > 職員数

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

管理者	計画作成担当者	看護職員	介護職員
1	1	2	12 (5)

＊ () 書きは、非常勤職員数を再掲

＊介護職員 12 名中「介護福祉士」有資格者 7 名

＊看護職員 1 名中「准看護師」1 名

＊管理者と計画作成担当者は兼務